

**富士山に登ったのは
～志（こころざし）をもつ～**

校長 柳田 昭彦

明けまして、おめでとうございます。今年も、田検中学校の職員が一丸となって、19人の生徒たちのために精一杯頑張ります。保護者・地域の皆様方の学校に対する御理解・御協力をよろしくお願いいたします。

この3学期は、生徒にとって1年間のまとめの学期であり、次の学年への準備のための学期です。3年生にとっては、中学校生活と義務教育の締めくくりであり、次なる進路に向けた準備の期間になります。

さて、「富士山に登った人は、どういう人かわかりますか？」と質問されたら、これにどう答えますか？まず、浮かんでくる答えは、山や自然が好きな人、足が丈夫で山登りのできる人、などでしょうか。でも、山がそれほど好きでなくても登る人はいます。たとえ足が不自由でも、人の助けを借りるなどすれば、登れます。では、答えは何かというと、「富士山に登ろうと思った人」です。理由は何であれ、「登ろうと思った」から山頂に到達したのです。いくら普段から足腰を鍛えてあり、友人から熱心に誘われたとしても、登ろうと決心しなければ事は始まらないというわけです。この、何かをしようとする気持ち、あることを目指そうとする心を、「こころざし」といいます。漢字では「こころざし」を「志」と書きます。この漢字は、武士の「士」と「心」の組み合わせになっています。上半分の「士」の元になっているのは、足跡の形。前に向かって進むさまと、この漢字の音を表します。その下に書くのが「心」、つまり「志」とは、進もうとする心、目標に向かって進み、やり遂げようとする強い気持ちを意味するというわけです。

「オール1の落ちこぼれ、教師になる」という本があります。その著者の宮本延春氏は、「人間とは不思議なもので、あんなに嫌いだった勉強が、目標を持ったとたん楽しくなったのです」と後に振り返っています。また「学ぶ」ことに関して「ささやかな目標であっても、自分にとって価値のあるものならば、それを見つけただけでも素晴らしいことであり、その目標に向かって努力することは、この上もなく尊いことです。そして、その目標を達成させるための努力こそが『学ぶ』という行為そのものなのです」と述べています。

自分の夢に向かって、進もうとする「志」があれば、頑張れます。繰り返しになりますが、「富士山に登ろうと思った人だけ」が、登ったのです。「志を持った人」が、成長できるのです。

今、3年生ひとり一人が、自分の目標に向かって日々勉強に取り組んでいます。今年の3月、一人ひとりの頑張った努力が成果に現れることを心から願っています。



新年の抱負～始業式～

8日(水)に始業式があり、3学期がスタートしました。各学年の代表が、新年の抱負を発表しました。1年生は「1・2学期も含めて復習を頑張り、2年生の準備をしたい。体力作りにも取り組みたい。」、2年生は「規則正しい生活をして、受験生へ向けて復習を頑張りたい。」、3年生は「早寝早起きができた。志望校に余裕をもって入れるように、受験生として勉強を頑張りたい。最後の思い出作りをするために、一日一日を大切に過ごした。」と発表しました。感染症等に気を付けて、進学・進級へ向けて挑戦する学期になるといいです。



受験にみんなで臨む～3年生を励ます会～

9日(木)のスマイル朝会で、受験に向けて頑張っている「3年生を励ます会」を開催しました。

生徒会長の森山姫衣さんは「先輩方が日頃から頑張っている勉強の成果を発揮してください。」と言葉を贈りました。2年生の伊元白飛さんと中田凜太朗さんがエールを送りました。3年生の碓元陽衣さんは「みんなで力を発揮して頑張るので、応援お願いします。」と応えました。受験で自分の実力を出し切ってほしいです。



私立入試へ向けて今まで勉強した力を出せるように、自信をもって挑みたい。残りの時間を有効に使って、合格を目指してラストスパートをかけたいです。面接などがあり、みんな緊張していますが、自信をもって練習どおりに挑み、みんなで合格できるように1日1日大事にして頑張りたいです。 3年 富山 桜妃

力試しを～鹿児島学力・学習状況調査～

15日(水)と16日(水)に1・2年生は鹿児島学力・学習状況調査がありました。これまで学習した成果や自分の実力を試すため、授業改善のための調査です。



今年度からコンピュータを利用して行うC B T方式で行われました。「問題が少ないし意外と簡単で、時間が余りました。」という生徒もありました。これから「短期記憶」から「長期記憶」へするために、更に授業改善等に取り組みます。今後、県や地区等の正答率も出されます。結果は後日お知らせします。これからも継続して粘り強く学習してほしいです。



伝統と作法を学んで～礼法教室～

1月14日(火)、高野さやか先生と福山豊子先生を講師にお招きして、礼法教室を開催しました。

今年も「和敬清寂(わけいせいじゃく、「お互いを敬い、清らかに、穏やかに過ごしましょう」という意味)」の掛け軸を前に、1年生は正しい礼や正座の仕方、和室への入り方など和室における作法を学びました。2年生は、和食における正しい作法(箸の使い方やお碗の持ち方など)を学びました。その後、先生方と給食を食べながら学んだことを早速実践し、指導・助言をいただき、日頃より作法に気を付けて給食を食べました。3年生は、1・2年生の時に学んだことを復習し、その後和菓子の食べ方とお茶の入れ方や作法を学びました。今年も和菓子は先生の手作りで、「椿」をイメージしたものでした。お茶も上手にたてられて、作法を守ってお茶も和菓子も美味しくいただきました。全学年ともに、日頃から意識して美しくできる所作や日本のよき伝統文化を学ぶことができました。日頃の生活でも生かして、素敵な大人になってほしいです。



箸の取り方やお茶碗を手取る時に気を付けることを学びました。特に難しいと思ったことは、お茶碗を持った後に箸を持つ動作です。私は右利きですが、箸を取る時に左手を使い、更にお茶碗まで持つとすごく食べにくかったです。学んだことを日常でも気を付けて、身に付けたいです。 2年 森 更紗

入学が楽しみ～入学説明会～

17日(金)に小学6年生を対象に中学校入学説明会を開催しました。

今年は数学の体験授業を実施しました。円柱や円すいなどの図形についての学習をしました。円すいを求める時には、ヒントの動画を基に、自分たちで解き方を見付けられました。「わかった。」や「できた。」という声が多々聞こえ、少し緊張していましたが、意欲的に授業に取り組みました。25分という短い時間でしたが、中学校の授業の雰囲気を感じることができたと思います。

その後、校長先生の話や中学校生活、生活面等の説明を行いました。中学校での学習や生活、給食について等についての宿題プリントの入学テストでは、「自転車遠足」や「黒糖づくり」等が楽しみなようでした。中学校生活が楽しみな児童が多く、中学校で頑張りたい気持ちが伝わってきました。皆さんが中学校への入学してくることを楽しみに待っています。



中学校入学の楽しみ度
83.0%(平均)

実力を出し切って～全国都道府県対抗男子駅伝競走大会～

19日(日)に天皇盃第30回全国都道府県対抗男子駅伝競走大会が広島市で開催されました。

碓元瑛太さんが2区(3km)を走り、8分46秒の区間16位でした。出走前は、あまり緊張した様子はありませんでした。全国の舞台でもいつも通りの力が発揮しました。(以下本人感想)

初めてでとても緊張とプレッシャーを感じました。合宿等の経験もあり、大会までの調整もしっかりできました。当日は少しでも順位を上げてチームに貢献したかったのですが、自分の力不足で、納得のいく走りができませんでした。全国のトップランナーの走りを見て、自分も刺激を受け、まだまだ成長できると感じました。これからもっと力を付けて、もう一度この舞台に立ってリベンジしたいです。



【2月】のおもな行事

- 1日(土) ケンムン杯バレーボール大会
- 4日(火) 薬物乱用防止講話
- 5日(水) 滝の園との交流会(5・6校時)
- 8日(土) 家庭学習定着週間(～16日)
土曜授業
ほこらしや奄美音楽祭ミニコンサート
- 12日(水) 小中合同研修会(4限授業)
PTAあいさつ運動
- 14日(金) 3年学級PTA
- 21日(金) スクールカウンセラー来校
- 25日(火) 村教育委員会訪問

